

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成30～32年度）における各施策の進捗状況について

【基本理念】

【計画目標】

安心して
すこやかに
いきいきと暮らせるまち
堺

生活の安心を
支える

すこやかに
暮らす

いきいき
暮らす

地域包括ケアシステムを地域全体で支える保健福祉の仕組み
構築及び深化・推進

重点施策

施策展開

主な取組の進捗状況(令和元年度実績)

自立支援、介護予防・重度化防止の推進

- (1) 介護保険制度の理念周知
- (2) 介護予防の推進と普及啓発
- (3) 介護予防ケアマネジメントの推進
- (4) リハビリテーション専門職を活かした取組の推進
- (5) 介護予防・生活支援サービス事業の推進
- (6) 地域の通いの場の創出

- げんきあっぷ（ロコモ予防）教室の開催
参加者数 14,201人(平成30年度)⇒12,211人(令和元年度)
- 介護予防ケアマネジメント検討会議
検討事例数 233事例(平成30年度)⇒203事例(令和元年度)
- 日常生活圏域コーディネーターの圏域配置
配置数 13名(平成30年度)⇒15名(令和元年度)

在宅ケアの充実
および連携体制
の整備

- (1) 在宅医療・介護の連携強化
- (2) 地域包括支援センターの運営
- (3) 在宅生活を支援する多様なサービス基盤の充実
- (4) 家族介護者等への支援の充実
- (5) 市民への情報提供の充実や意識の啓発

- 在宅医療・介護連携推進事業
医療・介護機関のリストを一元化し、市ホームページに掲載(令和元年度)
- 見守りネットワーク事業の推進
登録事業者数 2,189件(平成30年度)⇒2,242件(令和元年度)
- ダブルケア相談窓口の充実
相談件数 246件(平成30年度)⇒269件(令和元年度)

介護サービス等
の充実・強化

- (1) 介護サービスの質の向上
- (2) ケアマネジメントの質の向上
- (3) 介護人材の確保・育成
- (4) 介護保険施設の適正な整備
- (5) 介護給付適正化事業の推進
- (6) 費用負担への配慮
- (7) 介護保険制度に関する啓発、情報提供、苦情相談等

- ケアプラン点検事業
点検事業者数 118か所(平成30年度)⇒145か所(令和元年度)
- 介護サービス事業者表彰制度
表彰事業者数 6件(平成30年度)⇒12件(令和元年度)
- 介護サービス事業者の活動発表会と就職相談会の実施
活動発表会の参加者数 227人(平成30年度)⇒170人(令和元年度)
- 介護相談員派遣事業
派遣回数 139回(平成30年度)⇒82回(令和元年度)

認知症施策の推進

- (1) 認知症に関する普及啓発の推進
- (2) 認知症への適切な対応
- (3) 認知症家族等への支援や居場所づくり
- (4) 認知症予防の推進

- 認知症サポーター・認知症キャラバンメイトの育成
認知症サポーター数 66,560人(平成30年度)⇒75,032人(令和元年度)
- 認知症初期集中支援チームの充実
対応件数 67件(平成30年度)⇒74件(令和元年度)
- さかい見守りメールの充実
事前登録者数 687人(平成30年度)⇒825人(令和元年度)

高齢者が安心して暮らせるまち・住まいの基盤整備

- (1) 高齢者が安心して暮らせる住まいの確保
- (2) 高齢者が暮らしやすい生活環境づくり
- (3) 災害等緊急時に備えた支援の充実
- (4) 権利擁護支援の充実
- (5) 消費者被害の未然防止及び救済
- (6) 特殊詐欺の被害防止の取組み促進

- 緊急通報システムの周知・拡充
設置台数 5,083台(平成30年度)⇒4,865台(令和元年度)
- 避難行動要支援者の避難支援の仕組みづくり
避難行動要支援者支援の取組状況 91校区(平成30年度)⇒91校区(令和元年度)
- 権利擁護サポートセンターの運営・市民後見人の養成
市民後見人バンク登録者数 延べ64人(平成30年度)⇒59人(令和元年度)

健康の保持・増進

- (1) 生涯にわたるこころと体の健康づくり
- (2) 健康を支える地域社会づくり
- (3) 生活習慣病などの疾病予防
- (4) 高齢期特有の健康課題への対策

- 専門職による健康教育・健康相談の実施
健康教育受講者数(65歳以上対象)
17,432人(平成30年度)⇒16,850(令和元年度)
- 健康づくり自主活動グループの育成と活動支援
登録参加者数 6,558人(平成30年度)⇒6,608(令和元年度)
- 介護予防普及啓発事業
講座・教室関係開催回数 539回(平成30年度)⇒522回(令和元年度)

高齢者の社会
参加と生きがい
づくりの支援

- (1) 情報提供ときっかけづくり
- (2) 担い手の育成
- (3) 社会参加の機会の提供
- (4) 助け合い活動の推進

- おでかけ応援制度
年間延べ利用回数 6,080,662回(平成30年度)⇒6,180,587回(令和元年度)
- シルバー人材センターの活用
契約件数 18,240件(平成30年度)⇒18,029件(令和元年度)
- 日常生活圏域コーディネーターの圏域配置（再掲）
配置数 13名(平成30年度)⇒15名(令和元年度)